

治療審査委員会申請書類

患者ID :

患者氏名				生年月日			年齢			性別				
診療科			区分	☐	階病棟		☐	外来		申請医師名				
診断名								Stage			Performance Status			
告知内容														
治療方法	プロトコール名	キイトルーダ + PTX + CBDCA (切除不能な進行・再発)								告知Grade				
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積				m ²	
	血清クレアチニン値				mg/dl		Cockcroft-Gault		性別無し		ml/min			
	AUC		6		に設定する						※女性 は 0.85 を掛けています			
	ペムブロリズマブ 200 mg (3週間間隔で投与する場合の固定用量です) d1													
	パクリタキセル mg/body (200mg/m ²) d1													
	カルボプラチン #VALUE! mg/body (カルバート式:AUC×(GFR+25))にて計算) d1													
	インターバル3週													
	併用療法4コース後、病勢進行するまでキイトルーダ200mg/body <<3週毎>>を投与継続可													
	※病状や患者希望を考慮し、キイトルーダ400mg/body<<6週毎>>への切替も可能													
	Day1													
併用薬の確認	① ハロノセトロン0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキサート(6.6mg) 3V[19.8mg] + ファモチジン注20mg 1A													
	120ml/hr 30分かけて投与 レスタミンコーワ錠 5T (50mg) 内服 《①と同時に》 ※備考欄													
	② 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)													
	③ 生食50ml 側管ルート プライミングに使用													
	④ キイトルーダ 200 mg + 生食100ml 200ml/hr(30分) 側管(フィルター付き)													
	⑤ パクリタキセル mg + 生食500ml 170ml/hr 側管(フィルター付き)													
	⑥ カルボプラチン ##### mg + 生食250ml 250ml/hr 側管													
	支持療法													
	デカドロン4mg 1回1錠 1日2回 朝昼食後 2~4日目に内服													
	投与開始日 年 月 日													
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()													
予測される副作用と対処方針	・悪心・嘔吐 ・骨髄抑制 ・間質性肺疾患(胸部X線検査実施等) ・大腸炎、重度の下痢 ・下垂体機能障害 ・甲状腺機能障害(定期的TSH,FT3,FT4等測定) ・腎障害 ・脳炎 ・脾炎 ・1型糖尿病(口渇,悪心,嘔吐,血糖上昇) ・肝機能障害、肝炎 ・神経障害(運動・感覚まひ,痺れ,痛み) ・副腎障害(怠い,意識がうすれる,判断力低下等) ・重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症 ・重度の皮膚障害 ・infusion reaction													
備考	インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用すること(キイトルーダ/パクリタキセル) PD-L1の発現にかかわらず投与可 アルコールに過敏な患者は慎重投与(ビール瓶中瓶1/2本程度のアルコールが含まれる)[パクリタキセル] ※レスタミン 緑内障・前立腺肥大:禁忌[抗コリン作用による悪化の為] ⇒ オロパタジン錠5mg													
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可													

担当委員署名

許可決定日時 年 月 日 有効期限 年 月 日